

# ふるさとのみどり

第39号  
発行月 平成31年3月  
発行者  
千葉市緑化推進協議会  
会長 満富 五夫

## 連携して緑豊かな街づくり推進

千葉市緑化推進協議会 会長 満富 五夫

会員の皆さんには、当協議会にご協力いただき有り難く厚く御礼申し上げます。一昨年度より自主運営となりましたが、無事に活動できていますこと深く感謝申し上げます。

当協議会は、約40年前の1978年（昭和53年）に発足した歴史ある協議会で、地域住民による「緑豊かな街づくりの推進」と「地域社会の発展」に寄与することを目的としております。

時代にあった組織づくりと運営の為、昨年より個人会員や賛助会員も入会できるようになりました。

活動内容は千葉市のホームページに掲載し、会員の成功体験や問題点を情報共有し役立てるようにしております。今年度も「樹木診断会」「視察研修会」「園芸講習会」の活動紹介の他、「お役立ち情報」等を掲載しております。

元号も変わる新年度は関係団体との連携を強め、緑豊かな環境・街づくりに賛同いただけるかたが増えるような活動をして参ります。

会員の地域に樹木医が直接出向き、樹木や植栽全般に関するご相談に応じる「樹木診断会」は、その場でアドバイスを受けられる当協議会の特長的な活動です。ご活用ください。

団体や個人の皆さまの新規入会もお待ちしております。

## 平成30年度の事業紹介(年間スケジュール)

### 1. 樹木診断会(随時)

誌面2ページ目に掲載

専門の樹木医が会員地区を訪問し、現地を見ながら、樹木や園芸管理など緑と花に関し診断し指導しています。今年度は4会員地域にお伺いし実施。実施会員地域は稻毛スカイマジションAB棟管理組合、稻毛海岸3丁目団地管理組合、エステシティ海滨幕張管理組合、レーベンハイム西千葉自治会。

### 2. 視察研修会(年1回)

誌面2ページ目に掲載

緑化意識の高揚と会員相互の交流の為年1回開催しています。今年度は昨年9月27日(木)に東京都神代植物園にバスでの視察研修会を実施いたしました。

### 3. 園芸講習会(年1回)

誌面3ページ目に掲載

園芸講習の習得を目的とし、年1回開催しています。今年度は昨年10月29日(日)に三陽メディアフラワーミュージアムで千葉市地域リーダーの会に講師をお願いし開催。テーマはロングライフプランナー(秋から春まで長~く咲かせる寄せ植え講座)でした。

### 4. 緑化推進に関する講演会(年1回)

誌面4ページ目に掲載

緑と花のあふれるまちづくりを進めるため、講師を招いて、市民の皆さまのご出席もお願いし企画。今年度は2月24日(日)に千葉市中央コミュニティーセンターでNPO法人集住グリーンネットワーク代表の松岡二三夫氏を講師にお招きし開催。テーマは身近な緑と花の管理でした。

### 5. その他

第41回通常総会は昨年5月26日(土)に開催、理事会は昨年4月から3月までに10回開催、又 会報「第39号ふるさとのみどり」も3月に発行いたしました。

## 初めての視察研修会参加

海浜コートビレッジ管理組合 植栽担当理事

稻生 智

平成30年9月27日(木) 視察研修会に参加させて頂きました。

心配された雨も上がり役員所属の団体を含め21団体、会員53名の参加者で定刻の出発時間より少し早い8時前に、バスで千葉市役所前を出発しました。

今回の視察研修地は東京都調布市にある『神代植物公園』です。

目的地に着いてからは6班に分かれ、其々に付いて下さったボランティアのガイドさんから広い園内を判りやすく丁寧に興味ある説明でご案内を頂けました。現在、約4,800種類、10万本の樹木が植えられていて、植物の種類ごとに30ブロックに分けて管理され、日本古来の珍しい品種などもあって、育成保存も含めて四季に応じた管理を行っているとの説明には驚かされました。

会でご用意頂いた昼食を食べた後はすぐ近くの深大寺に移動して、ここでもお寺ガイドさんの案内で約1時間境内を見学した後、自由時間では買い物や有名な深大寺そばを味わいました。当会主催の研修会への参加は初めてでしたが、往復の車中では和気藹々の交流会となり情報交換なども出来、楽しく過ごせました。

ただ一つ?気になったことは・・・

各団体とも総じて言っていた会員の高齢化と新規の入会者が少なく、会の維持に苦労していると言ふことでした。

有意義な一日を過ごし、午後5時に市役所前に戻って来ました。今回を機にこのような企画があればまた参加してみたいと思っています。



## 樹木診断会と植栽環境活動

エステシティ海浜幕張団地管理組合法人

環境委員長 深井 敏彦

当初からの住民である私にとって、このマンションに引っ越してきた日の夜、当時小学生だった息子が、この正面ゲートから全体を見渡したときに、「父さん、ここって外国の別荘みたいだね」って言ったことを懐かしく思い出します。「ヤシの木」が噴水の前にそびえ立ち、建物からのオレンジの灯りが包む景色は子供の目にはまだ行ったことのない南洋の風景に見えたのでしょうか。

今では噴水は無くなり、シンボルツリーであるヤシの木はところどころ詰め物で充填されたいかにもみすぼらしい木になり果ててしまいました。しかし、当マンションが昨年20周年を迎えたことを契機に、今後の敷地内の植栽環境を見直していくために環境委員会では「植栽ミニプロ」を立ち上げました。そして今後の植栽の方向性をしっかりと決めていくためにも、今回千葉市緑化推進協議会さまに「樹木診断」をご依頼した次第です。「診断」の狙いは、まずヤシの木の実際の健康状態はどうなのか、私たちが仮定で考えている対策は妥当なのか、また敷地内の植栽の現状はどうなのか、どういうメンテナンスが必要なのか。私たちは、診断を受けています。いろいろと質問させていただきましたが、面倒がらず、ひとつひとつ丁寧にご教示いただきました。

今後私たちは「植栽ミニプロニュース」を定期的に発行し、その紙面を通じて居住者の皆さんに検討の進捗過程を説明し、植栽に対する今後の提案を行っていきます。

私たちの次の世代のために。



## 「秋の寄せ植え講座」に参加して

磯辺63自治会花を育てる会  
和田冬美

昨年参加された方から、とてもすばらしい講習だとお聞きして楽しみにしていました。会場に入りますと、様々な寄せ植えが準備しており、期待で一杯になりました。

いよいよ講習が始まりました。植え付けには、土、腐葉土、元肥、と共にオルトランと虫コロリも一緒に混ぜ合わせることを知りました。今まで虫に花をだめにされることがありましたが、これからは安心だと思いました。

次に植え付けです。準備していただいた花は、ガーデンシクラメン、ビオラ、フウチソウ、オリヅルランです。寄せ植えする方法を講師の方から詳しく説明していただき、みんなで和気あいあいと作業を進めることができました。

最後に土が均等に入っているかなどを確認していただき寄せ植えがすばらしいものに仕上がりました。

長く花を咲かせるためには「花がら摘み」も大切なことを教えていただきました。シクラメンの終わった花は、手でくるくる回せば茎の根本から切れることもとても参考になりました。

持ち帰った寄せ植えは今も綺麗に咲いています。これからも教えていただいたことを守ってながく咲かせていきたいと思っています。

講師の方、役員の方、本当にありがとうございました。また、このような機会がありましたら、是非参加したいと思っています。



## 花壇の手入れが楽しき「花植え隊」

高洲三丁目住宅管理組合「花植え隊」  
竹内美枝子

私の住む団地は、「花植え隊」というグループがあり、街区内の5ヶ所の花壇の手入れと、世話をしています。

私の家の近くのバス停の前の花壇が受け持ちです。広さは5平方メートル位かな、バス停の前なので駅に行くバスを待つ花好きの方々からきれいですねと、よく声を掛けて頂き、自然と笑顔に成ってしまいます。

よくお逢いする方とは、バスが来るまで花談義になります。我が家家のベランダから移した植物もあるので、なるべく名札を付けて、名前が分かるようにしておきます。

夏の朝夕の水やりは、主人も手伝ってくれて助かります。「ちょっと下に行ってきます」と、下りてゆくとなかなか帰って来ないと、よく主人に言われますが、枯れ葉や、花殻を取ったりして眺めていると、つい時間がたってしまい(おしゃべりもありますが)大好きなひとときです。

12月の花壇は、葉ボタン・色とりどりのパンジー・ビオラ・芽を出した水仙の葉・千両の赤い実・黄色の可愛い花を一杯に付けた磯菊、等々、、、冬の花壇も楽しみが一杯です。

私が一番、楽しんでいます。



## 平成31年度緑化推進に関する講演会

平成31年2月24日(日)に千葉市緑政課緑と花の推進室の香川室長と池田主査を迎えて、NPO法人集住グリーンネットワーク代表の松岡二三夫講師による「身近な緑と花の管理」というテーマの講演会を行いました。

講演の内容は、「1. 身近な緑の効用と管理、2. 樹木の経年に伴う管理リスク、3. 樹木の経年に伴うリスク回避の手法、4. 樹木の再生・更新手法、5. 植栽景観の再生・更新手法、6. 植栽整備計画事例紹介」で大変参考になりました。

講師は株式会社緑住環境計画代表取締役ですが、市民活動を通して業者目線では見えなかったことが見えてきたとして、市民活動も推進しておられるとのこと。

なお、時間が足らず用意いただいた2つ目の資料の説明ができなかったこともあります、ネット上でも資料が参照できるようにしていただきました。

講演に先立ち主催者「千葉市緑化推進協議会」の目的や活動紹介がありました。



## 植栽管理の見直しとこれからの取組について

稲毛スカイマンションAB棟管理組合 理事長 根本 芳雄

稲毛スカイマンションAB棟は昨年築35年目を迎え、一昨年には大規模修繕を無事終了しひと段落したところです。

マンション内を改めて見渡すと、シンボルツリーである大きなクスノキの新緑が電線に接触し、また生垣の一部は立ち枯れ、道路際の植込みのサツキの花もまばらに咲き、植込みには竹と雑草が生い茂り、過去十分な手入れがされていないことに気がつきました。

そこで千葉市緑化推進協議会の樹木診断会を申し込み、樹木医の大矢先生から木が大きく成長し過ぎて枝と枝が重なり合っているところや、新築当初から密植状態だったことなどのご指摘をいただきました。

またオレンジ色のかわいい花を咲かせるナガミヒナゲシは

外来種で繁殖率が高く環境に悪影響を及ぼすなど、

多くの事を学ばせていただき、新しい発見が出来たことは当マンションにとって大きな財産になったと思いました。

私事ですが第17期「緑と花の地域リーダ養成講座」に参加し11月に無事終了したところです。

来期は組合の活動として、(仮称)「緑と花の会」を立ち上げる予定です。

手入れの行き届いた緑や花がマンションの資産価値を高め、人と人とのコミュニケーションが増えていけば良いと考えております。



### 新規会員募集!!

千葉市内の緑豊かなまちづくりに参加しませんか。皆さんのご入会をお待ちいたします。

☆会員資格 市内の自治会、町内会、マンション管理組合、個人等

☆会費(年)は1団体の戸数により定めています。

- |           |        |                |
|-----------|--------|----------------|
| ①199戸以下   | 3,000円 | ②200~299戸      |
| ③300~499戸 | 8,000円 | ④500戸以上 1      |
| ⑤個人会員     | 1,000円 | ⑥賛助会員 1口1,000円 |

・個人会員は、市内のどなたでも個人で会員になれます。ご自身が所属する自治会、町内会、マンション管理組合が会員になっていても会員になれます。

・賛助会員は、企業、団体、個人等で当協議会を応援してくれる方々です。

☆問い合わせ/入会申込先 千葉市緑化推進協議会事務局「みつみ」

TEL090-6517-8555 FAX043-253-3815

E mail:ryokkasuisin@gmail.com ホームページ 千葉市緑化推進協議会 検索